

「原田メソッドを受講しての感想せみぎ」

[受講の動機]

私は松下電器(現Panasonic)を定年退職してから家内と結婚相談所を起業した64歳の男性で、孫が4人居ます。

退職してから、日本の大企業の不正行為やハラスメントが横行しているのを見事に受け、自分の孫たちが大きくなった時の日本の社会に不安を感じていました。

また、結婚相談所を始めから出会った若者たちの中には

- ・両親を見ていると結婚がいいものとは思えない
- ・親が結婚せよという声に腹が立つている

といった声を聞きました。あるいは

「息子の嫁を採りたいので父親の私が入会しても良いか？」

と聞いてこられた私と同世代の方も居ました。

このようなことから、私と同世代の親と娘の子供たちのギャップが大きいことを感じておりました。

一方で自分のことを考えてみると、親の言うとおりに「いい会社」に入った自分が親とのギャップを感じたことに問題があるのでは？と思い、「身軽に自由な生活、ことを目的にしたコミュニティに参加しました。そしてその中であり若田麻実氏の招待で原田メソッドを学ぶ機会を得ました。

[感想せみぎ]

受講してまず感じたのは原田先生の教えと故、松下幸之助創業者の教えには相通いするものがあるということでした。

例えば4観点からの目標設定に関して、たゞにジャイアントワールドカップでの優勝を目標とした際、社会・他者無視を大切にしたい考え方に気づけます。

松下電器の利益の考え方は

「利益は社会に貢献した割合により得られる」

というものです。つまり、利益を目標にするのではなく、どれだけ社会に貢献できたかが考えなければなりませんという事です。

また、奉仕の気持ちで「二つのジョブを上向ける」ということも、故に松下幸之助創業者が女子宗教法人(おそらく天理教?)を訪問した時、無報酬にも関わらず、1ヶ月として朝早くから掃除をしている人々の姿を見て感動され、後に歩一会(ホ・イカイ)の発足につながったというお話と重なりました。

松下電器の人事評価システムにジョブ・パフォーマンスという制度があることも「グリーン」に重なり、原田先生の教えと共通することを感じました。

いろいろな仕組みや制度があっても、それを運用するのは「人」です。運用する人の「二つのジョブ」が上向いているといければいいという気づきを得ました。

私の最も大きな気づきは「ブリッジング」でした。

学心の場と、すでにXの学びが結果している姿を繋ぐことは、私がかつてから信じていた「原因があって結果が起る」のではなく「結果があって原因が起る」のだとの気づきは、私にとって「ドペルニクスの発想の転換でした。

今回、実際に目標達成プログラムを実践した結果、4月22日時点で1月の月収目標を117%達成することができました。しかも、これに1度も実現できなかったセミナーを開催することができたことは私の大きな自信になりました。

今回の学びを結婚相談所の活動の現場で、孫たちとの繋がりの
場面とブライディングに行きます。

そして、世代間のギャップをなくするためにまず、私が主体変更し、
自立型人間になります。私と繋がってくれるであろう方々に自立型
人間になるように今回の学びをブライディングに行きます。

ブライディングを行った際に、目の前で記録した手書きの用紙を
お渡しすると、皆私異口同音に「書いてくれたのですね。」と喜んで頂
きました。これを知り、私は字が汚いのがイヤだったのですが、
思いを込めて手書きすることの大切さも気づかせて頂きました。

ここで、汚い私の文字を読み進めていただき、
ありがとうございます。

仕事の内容や今護の必要性もあつたから、リアルなセミナーに
参加できませんでした。オンラインでも原田先生の熱量は
しっかりと受け取ったつもりです。

夏女子添削をしていただいた認定パートナーの方々、そして
原田先生の巻きの活躍をお祈りすると共に、これから
ご指導賜りますようお願いいたします。

この2ヶ月間、本当にありがとうございます。